

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2170300269
法人名	医療法人智盛会
事業所名	グループホーム 桃の香
訪問調査日	平成19年10月25日
評価確定日	平成 20 年 1 月 8 日
評価機関名	旅人とたいようの会

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年11月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2170300269
法人名	医療法人 智盛会
事業所名	グループホーム 桃の香
所在地	〒501-3711 岐阜県美濃市大矢田515番地3 (電話) 0575-31-0511

評価機関名	NPO法人 旅人となつたの会
所在地	岐阜県大垣市伝馬町100番地1
訪問調査日	平成 19 年 10 月 25 日

【情報提供票より】(平成 19 年 9 月 17 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 9 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 8 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷金	有( ) 円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 込み 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	なし 名
年齢	平均 78.3 歳	最低 77 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	みの長村医院、天心堂歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同一敷地内に通所介護施設を持つ為、機械浴、催し物参加等、多機能性の支援が出来る。デイに行きながらなじみの関係づくりからの入居等、ホームとデイを入居者が自由に行き来し、また看護師が常勤し胃薬や車椅子になっても安心して生活を続ける事が出来る。運営推進会議にも積極的に取り組み、より理解してもらえるように委員の人選にもこだわり、夜勤帯を想定しての実地訓練の様子や、市町村との取り組みを報告し詳細に記録している。独居の人が誕生日に自宅訪問を希望した場合には、事前に近隣や同級生に連絡をし、自宅歓迎を行い、地域の中でいつまでもつながりを持ちながら利用者が生きていけるような支援を行っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	平成18年3月1日開設 外部評価初回
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての評価であり、自己評価も管理者・職員との話し合いのもとでという点では充分とは言えない。ホーム運営者・管理者・職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解し、ホーム全員で評価についての話し合いの場を持ち、具体的な改善に向けた取り組みを期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族代表者、地区の民生委員、市の包括支援センターの主任介護支援専門員も交えた運営推進会議を奇数月に開催し、ホーム内の活動実施報告だけでなく、講師を招きサービスの向上に取り組んでいる。市町村担当者と運営推進会議以外に美濃市高齢福祉課と民生委員との連携で市の抱える課題(市内のホーム不足等)についても積極的に話し合い、ホームでは入居者の優先順位についても検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者個々の金銭管理やサービス利用についての報告は面会時や郵送にて毎月報告している。金銭管理・請求書等の家族への報告を毎月行っている中に利用者の個別の暮らしぶりなど写真等を添えて報告する等、定期的に個々に合わせた報告を期待したい。また、ホーム便り等も望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方にはホーム内の行事に参加していただけるよう促している。高校生のボランティア、中学校の職場体験を受け入れている。地域の方のホーム内行事への参加・ボランティアの受け入れだけでなく、ホーム側から地域行事・活動に積極的に参加し地域の一員として役割を担うことを期待したい。また、土・日は併設のデイサービスを開放しカラオケ大会等民生委員と話し合い実現に向けた取り組みを計画している。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「礼儀、真摯、寛容」という法人の理念があり、その一人ひとりを大切にという個人の尊重・人権の尊重、利用者の尊厳を重んじている。事業所独自の理念が、まだ、作られていない。		法人の理念は明確化されているが、グループホーム独自の理念を管理者及び職員と共に話し合い作り上げることを期待したい。また、ホーム独自の理念をパンフレット等でホーム側から積極的に地域に発信してほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は利用者への声掛けの際にも相手の立場に立って考え、利用者一人ひとりを大切にしている。職員は研修会等で意識改革を行っている。		ホーム独自の理念を確立し、管理者と職員は日々の利用者との関わりの中で理念の実現に向けてさらに取り組んでいただきたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方にはホーム内の行事に参加していただけるよう促している。高校生のボランティア、中学校の職場体験を受け入れている。ホーム側から地域行事・活動に積極的に参加し地域の一員として役割を担うことは、まだなされていない。		地域の方のホーム内行事への参加・ボランティアの受け入れだけでなく、ホーム側から地域行事・活動に積極的に参加し地域の一員として役割を担うことを期待したい。また、土・日は併設のデイサービスを開放しカラオケ大会等民生委員と話し合い実現に向けた取り組みを計画している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての評価であり、自己評価も管理者・職員との話し合いのもとでという点では充分とは言えない。		ホーム運営者・管理者・職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解し、ホーム全員で評価についての話し合いの場を持ち、具体的な改善に向けた取り組みを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表者、地区の民生委員、市の包括支援センターの主任介護支援専門員も交えた運営推進会議を奇数月に開催し、ホーム内の活動実施報告だけではなく、講師を招きサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と運営推進会議以外に美濃市高齢福祉課と民生委員との連携で市の抱える課題(市内のホーム不足等)についても積極的に話し合い、ホームでは入居者の優先順位についても検討している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者個々の金銭管理やサービス利用についての報告は面会時や郵送にて毎月報告している。利用者の暮らしぶりについては家族への報告はなされていない。		金銭管理・請求書等の家族への報告を毎月行っている中に利用者の個別の暮らしぶりなど写真等を添えて報告する等、定期的に個々に合わせた報告を期待したい。また、ホーム便り等も望まれる。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族より職員の言葉の伝え方等について意見をいただき、言葉掛け等職員と話し合い伝え方について、家族が話しやすい雰囲気づくりに心掛け意見を聞き、ミーティングで話し合い運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	教育指導的職員を配置し援助し馴染みの関係づくりに力をかしている。また、離職の際には個別に利用者アプローチして変更時のダメージを防いでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の案内を回覧したり、認知症研修の受講料を事業所が出す等の支援も行い、実地研修等介護技術向上の為にCDを購入し、職員の育成に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くのグループホームとの交流や職員交流も行っている。同業者のみならず医療系の事業所や病院・各施設との連携も図れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>デイ利用時から関係づくりをしグループホームへの入居を促し、また、ホームの職員が利用時に声掛けする等馴染みの関係をつくりホームへの入居に結びつけている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族との問題を相談したり物を大切にすることを学び、人生の先輩として尊敬している。また、地方独自の料理の方法や作り方の話をして学び合う関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>困難な場合は、行動・表情により利用者について2週間に1回意見交換しミーティングして把握に努めている。また、自分に置き換えて判断している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>土日面会時にケアマネが出勤し、できない場合にも月に2回全員集合した職員会議等で下肢筋力の低下などトイレに行けない人へ職員のアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に介護計画を見直し、退院時のプラン変更、急に変化が生じた場合は家族・職員・ケアマネが話し合い、新たな計画を立案している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接する通所介護施設でのアクティビティ参加、機械浴、催事参加等、デイとホームを行き来する利用者もいる。外泊希望の人には家族と連絡を密にし、いつでも希望の支援が出来るようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	自由にかかりつけ医を選択できる。また眼科等受診の際には薬の説明書を持参してもらい、かかりつけ医に相談している。医師にホームでの様子を伝えたり、医師間の連絡調整を行い、家族への受診報告も行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看護師常勤の為、現在車椅子対応の利用者、2時間おきの体位交換の利用者、胃薬の利用者も、対応できている。ただ今後、重度化した場合や、終末期に向けての話し合いが全員でなされていない。		さまざまな介護を必要とする人も今後多くなることを想定し、入居時からの重度化や、終末期に向けて全員で早い段階から今後の方針についてホームの特質を生かして話し合い、共有してほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けも丁寧で、用事がある場合でもテレビを見ている人の前を通らず遠回りしている。その人の立場になって考えるという理念が息づいている。居間での職員同士の話し合いの場では、入居者に分からないように個人名を出さずに、花の名前で呼んだりしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	いつまでも寝ている人には昼夜逆転の可能性もあり、その人の好きな『コーヒーをどうぞ』と声掛けをして起こしたりして、生活のサイクル作りを気持ちよく過ごしてもらえるように、気をつけている。不穏状態を回避する為、職員同士が知恵を出し合い快適に過ごしてもらえるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
		食事を楽しむことのできる支援			
22	54	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食はサービスと同じ食事を、配食事業者からとっている。汁物だけは自分たちで作り、朝と夕飯は職員利用者などで作っている。胃腸対応もしている。職員は利用者と一緒に話題を提供しながら、食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴以外に、夏はシャワー浴、デイでの機械浴、また入浴しない人には部分浴を行いかゆみやかぶれを防いでいる。希望すればいつでも入浴でき、また入浴を嫌う人にはその人個別のタイミングを見逃さず(洗濯室へ行かれた時等)、声掛けをし入浴の機会を作っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
		役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴から、掃除の好きな人には専用の箒と塵取がリビングにいつも置かれている。接客が好きな人には、訪問者へのお茶を出すときに、滑らないようにお盆にマットを敷いて失敗の可能性を少なくし、本人の自信と楽しみへの細やかな支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車いすの人も紅葉見学など、外出行事に参加している。散歩、買い物など、外出の機会を作ったり、サービスへの行事参加(浴衣を着ての夏祭り参加)を行っている。自宅への外出希望の人には、事前に近隣を巻き込んでの自宅歓迎を用意し、驚きと喜びを感じてもらい地域に密着したホームの支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
		鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けることへの弊害を理解し、不穏状態になる時間も把握しているが、現在電子ロック錠がかけてある。この事について早急にミーティングを行い、鍵を掛けないケアの実践に向けて取り組みを行う予定である。		鍵の利用は、認知症ケアに対しての『思考停止』の状態になりやすい事を理解し、認知症ケアの醍醐味を知り、認知症ケアの専門性を高めるためにも鍵を掛けないケアについて話し合ってもらいたい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜勤帯を想定しての避難訓練を行い、問題点を職員が提起し、前の家の人の協力も得ながら次回への訓練につなげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	昼食をとっている配食事業者の栄養士に、朝と夕飯内容を見てもらい栄養バランスに気をつけている。水分は食事やおやつ時に職員が気をつけ、摂取状況の把握に努めている。胃腸の人も水分の補給量に気をつけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間のテーブル上のコップに季節感あふれるコスモスがいけてあり、畳のコーナーもある。吹き抜けの天井からは和紙で出来た照明器具が、時折ふうわりとゆれ、風が通っていくのが実感できる。しかしリビング全体として家庭の生活感があまり感じられない。新しさ、清潔さ、便利さは感じられるが時(歴史や古さ)を感じられるものがない。		家々には歴史を刻んだ物があり、古い額の写真や絵画、古民具、掛け軸、利用者の思い出に繋がる絵や、昔の行事の写真、若い時住んでいた外国の写真等、生活感あふれる自宅の居間を想定しての空間作りに期待したい。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた筆筒、ご主人の位牌、花を生けた花器、鏡や化粧品、帽子やバッグ、家族が描いた絵が飾ってある。		